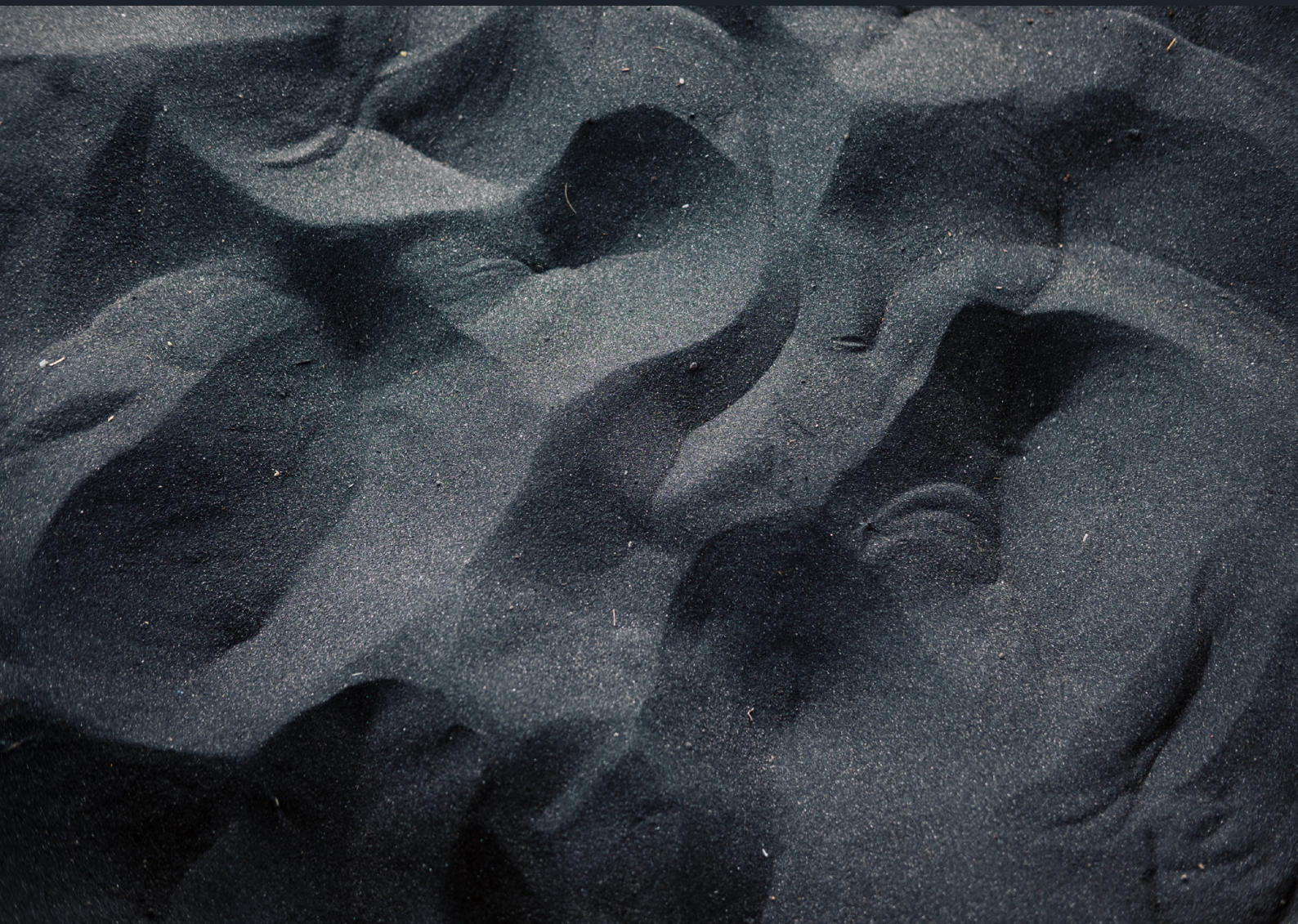


CDP2025コーポレート質問書における主な変更点

2025年4月





03	イントロダクション
04	コーポレート質問書
06	2025年の変更点の概要
06	コーポレート完全版質問書
09	コーポレートSME版質問書
11	付録A



本書では、CDP2025コーポレート質問書における主な変更点について説明しています。

CDPコーポレート質問書：包括的で意味ある環境情報開示を行うことができます。

CDP2024コーポレート質問書では、複数の環境課題が1つの質問書に集約され、開示フレームワークや基準との整合を大規模に実施しました。

従来は別々だった気候変動、フォレスト、水セキュリティに関するCDP質問書は、一つ集約され、調整を経て、より合理化されたアプローチを採用し、回答者の大多数には、同数またはより少ない数のデータポイントと質問が提示されるようになりました。

昨年、CDPは新たに中小企業を対象としたSME版質問書を導入しました。これはコーポレート完全版質問書と同様の構造ですが、データポイントが少なく、質問形式が簡素化され、ガイダンスが強化されています。

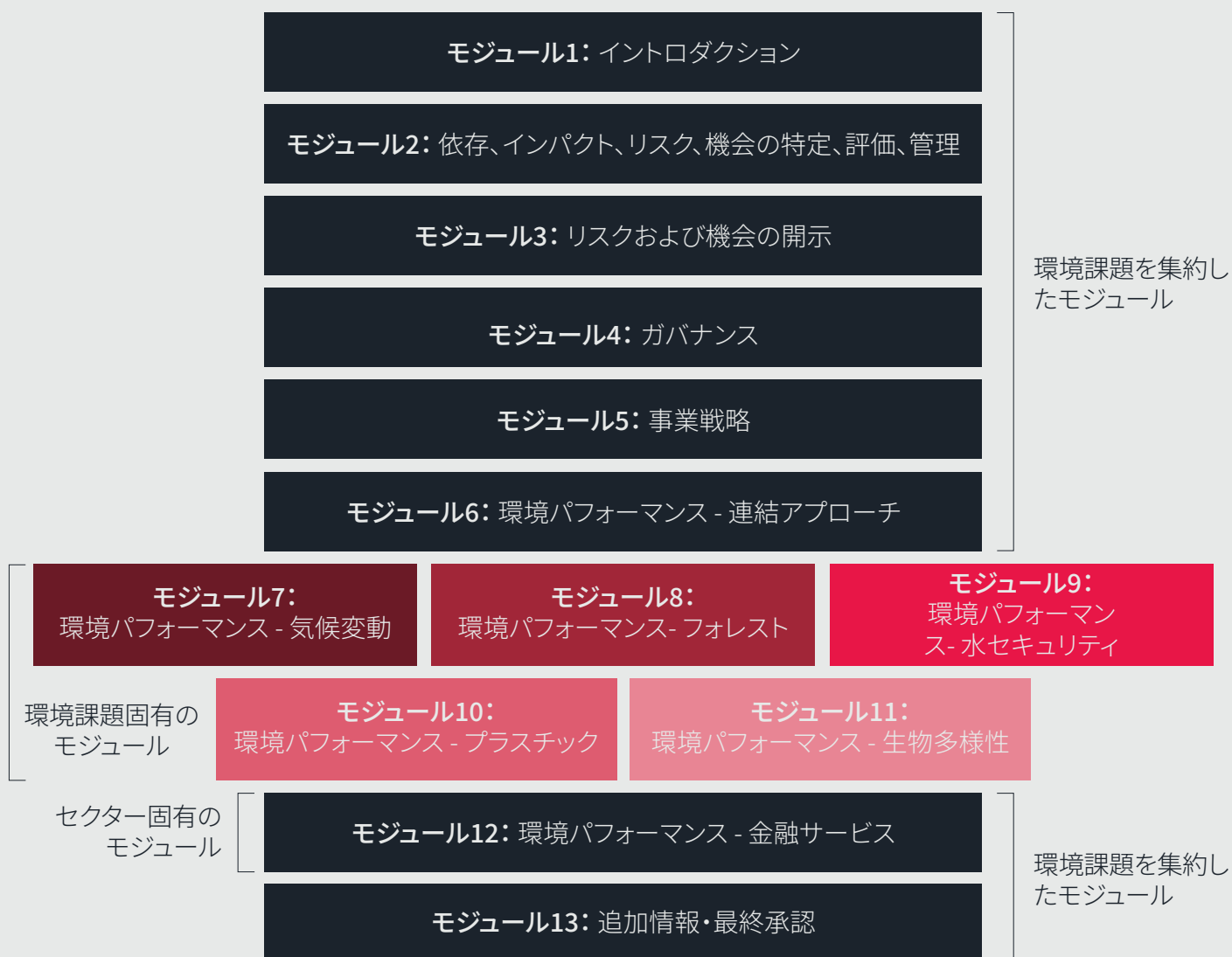




2025年の質問書でも合理化されたアプローチが維持され、わかりやすさと使いやすさを改善するために、わずかな変更点のみを加えています。データポイントの大部分は一貫性を保ち、継続して回答できるように設定されています。

CDPのスコアリング基準にも大幅な変更はなく、一貫性を保つためのわずかな変更と改善のみを計画しています。

(図1) CDPコーポレート完全版質問書のレイアウトと構造





回答対象となる環境課題の決定

CDPコーポレート質問書において環境課題を一つに集約していますが、すべての企業がすべての環境課題について報告しなければならないことを意味するものではありません。コーポレート完全版質問書の対象となるすべての企業には、気候変動、生物多様性、プラスチックの質問が表示され、回答が求められます。一方、フォレストとウォーターに関する質問は、これらの課題が企業の事業にどのような関連性があるかに基づいて、回答対象となるかどうかが決まります。

フォレストとウォーターの対象となるかどうかは、下記によって決まります。

- CDP活動分類システム (ACS) に基づく影響評価 (**産業別インパクト分類**) によって、フォレストやウォーターに与える環境インパクトがある。
- 回答要請機関 (サプライチェーン・メンバーなど) から、フォレストやウォーターの回答要請を受けている。
- 以下のポイント3に基づき、フォレストやウォーターへの関連性が大きいと自己評価する。

さらに、組織は、正式な回答要請がない場合でも、フォレストやウォーターに関する情報開示を行うことを選択することができます。

フォレスト

2025年も、CDPは環境課題横断モジュール全体を通じてフォレストに関する情報の回答を引き続き要請し、組織が、他の環境課題と同様に、森林関連のガバナンスや事業戦略の開示を行えるようにします。コモディティ別の質問やデータポイントは依然として極めて重要で、これについては、環境パフォーマンス - フォレストモジュールで回答いただきます。

ウォーター

昨年同様、水に関するデータポイントにはほとんど変更はありません。昨年の変更の大部分は、報告範囲からの除外、水ストレス地域、農業コモディティに関する質問の改訂によるもので、主な変更点は、施設レベルの情報と水関連目標に関する質問の更新によるものでした。

金融サービスに関する情報開示

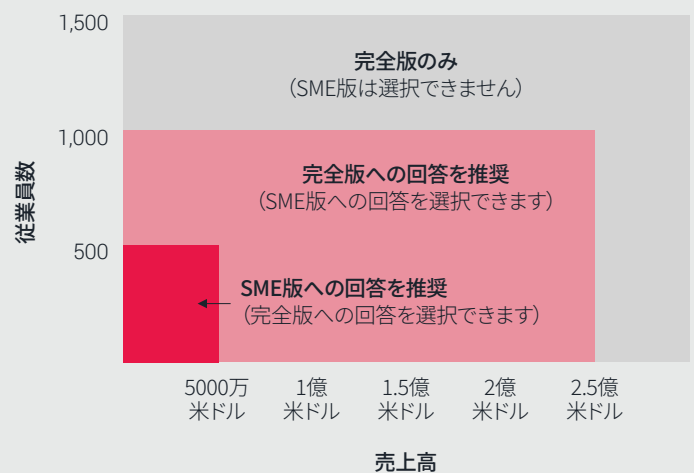
質問書の金融サービスに関する質問には変更はありません。

コーポレートSME版質問書

2025年、コーポレートSME版質問書に変更はありません。

コーポレートSME版質問書に回答できるかどうかは、組織の従業員数と売上高によって決定されます。この基準の詳細は以下のとおりですが、セクターや地域によって中小企業の定義が微妙に異なることに柔軟に対応しています。さらに、年間売上が2億5000万ユーロ／米ドル未満の中規模企業は、コーポレート完全版質問書への回答を準備するための移行期間として、SME版に回答することができます。

表:SME版質問書選択可能な基準:



スコアリング

CDPは2025年も引き続き、気候変動、フォレスト、水セキュリティについて環境課題別にスコアリングします。プラスチックと生物多様性については、企業にこれらの環境課題に関するデータを収集し報告することを促進する段階であり、引き続きスコアリングの対象とはしません。

CDPは、質問ごとの採点基準の詳細をCDPウェブサイト上で提供しています。



コーポレート完全版質問書

モジュール1: イントロダクション

イントロダクションモジュールで報告されたデータは、組織の他の質問への回答の背景情報となります。これには、質問書のすべてのモジュールに適用される報告年、報告バウンダリ（境界）、通貨などの情報が含まれます。

モジュール1の変更箇所として、CDPを通じて開示されるすべての財務情報に使用される通貨に関する質問1.2を必須にしました。さらに、質問1.5は「CDP回答に使用する報告バウンダリと財務諸表で使用されているバウンダリとの比較」に関してする質問ですが、こちらに追加のガイダンスがあります。この追加ガイダンスでは、報告バウンダリが一致していない場合や、除外対象を報告する方法について説明しています。1.10「ポートフォリオ評価」、1.22「組み込み（生産・製造に使用された）大豆量の計算」、およびバリューチェーンマッピングにおける1.24.1の「直接操業」の新しい選択肢などについても新たに説明しています。

モジュール2: 依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理

モジュール2は、環境課題の特定、評価、管理に関する質問です。2025年の質問書における変更は、主に技術的な修正とガイダンスの明確化によるものです。具体的には、質問2.2.2では、質問1.24でのサプライヤー階層の選択に基づいて、回答者に対してどのサプライヤー階層が表示されるかが修正されました。

モジュール3: リスクおよび機会の開示

組織のリスクと機会へのエクスポージャーを質問するモジュール3にはほとんど変更がありません。ただし、新しい選択肢を反映させる軽微な変更のほか、金融サービスセクターでは関連する場合にのみ列が表示されるようにするために、質問自体にも若干の修正が加えられました。

モジュール4: ガバナンス

このモジュールでは、組織が環境への依存、インパクト、リスク、機会に対して効果的かつタイムリーな行動を可能にするガバナンス構造とプロセスを備えているかどうか、また環境課題が企業の方針とインセンティブに組み込まれているかどうかについて質問しています。

ガバナンスモジュールの質問では、重複を削除するなどの軽微な変更が加えられています。質問4.1.2の「ガバナンスメカニズム」列の重複した選択肢を削除し、質問4.7.1の9列目のガイダンスを更新しました。また質問4.7で回答する内容が質問2.2.8の選択内容と整合するように修正して、関連する金融サービス企業にのみ表示されるようにしました。さらに、質問4.11のガイダンスに軽微な変更を加えています。



モジュール5:事業戦略

モジュール5では、ガイダンスをよりわかりやすいものにし、他の質問との関連性、参考情報、用語を明確にするための修正を行い、より正確で効率的に回答できるようにしました。主な変更点は、まず、質問5.2に新しいガイダンスを追加しています。このガイダンスでは、CDPでは、年次報告書など既存のメインストリームの報告書に移行計画の情報を開示することを推奨していますが、CDPへの回答を移行計画のエビデンスとして使用できることを明確にしています。また「キャパシティビルディング」、「目標」、「資本支出」という用語の説明をより明確にしました。

さらにガイダンスでは、質問5.1.1でシナリオ分析の対象となる時間軸について明確化し、質問5.11および質問5.11.9の「バリューチェーンのその他のステークホルダー」の意味に関する追加ガイダンスを追加し、およびモジュール全体にわたって、他の質問との関連性に関する明確化しました。質問5.12のガイダンスも更新し、排出量はトンCO₂eで報告する必要があることを明記しています。さらに、質問5.3.1と5.3.2では、新たな例を表示することにより、「この分野での戦略に影響を与えたリスクや機会に関連する環境課題」の列が、リスク／機会に関する質問3.1／3.6にどのように関連しているかを明確に示しています。

モジュール6:

変更なし

モジュール7:環境パフォーマンス - 気候変動

モジュール7には全体的に軽微な修正が加えられています。エネルギーに関連する質問のガイダンスを修正し、質問間の一貫性と明確性を向上させ、繰り返しがなくなりました。特に、質問7.9.1、7.9.2、7.9.3では、第三者検証に関する回答を容易にするために複数の文書を添付できるようになりました。さらに、質問7.79と7.79.1は、用語と選択肢において、自主的炭素市場のための十全性評議会 (ICVCM) との整合性を改善するために更新しました。回答が求められる内容について変更はありません。

モジュール8:環境パフォーマンス - フォレスト

フォレストモジュールには軽微な変更があり、そのほとんどがガイダンス、用語の説明、列の表示の有無に関するものです。重要な変更点は質問8.7.2で、ここでは負担を軽減するために、「第三者認証制度」の列での回答を単一選択から複数選択に更新しました。質問8.11.1の「課題を管理または解決するため確認された、主要な手段」の列は、回答者が前の列で障壁または課題を示した場合にのみ表示されます。質問8.3では、質問8.2で「生産」が選択された場合にのみ、「...開示できるかをお答えください」列が表示されるようになります。また、質問8.8.1ではトレーサビリティポイントが特定の場所や施設とどのように関連しているかに関するガイダンスをよりわかりやすいものにし、質問8.9ではフォレスト関連のテクニカルノートへのハイパーリンクも追加しました。



モジュール9:環境パフォーマンス - 水セキュリティ

モジュール9にはほとんど変更点がありませんが、わかりやすさと使いやすさを改善するために、軽微な変更を加えています。たとえば、河川流域リストの更新や、質問 9.1、9.1.1、9.2のガイダンスがよりわかりやすいものになり、さまざまな測定頻度に対応するためのガイダンスも追加しました。さらに、WWF ウォーターリスクフィルターのデータ更新に伴い、このツールに関するガイダンスも更新しました。

モジュール10:環境パフォーマンス - プラスチック

モジュール10にはほとんど変更点がありませんが、わかりやすさと使いやすさを改善するために、軽微な変更を加えています。たとえば、質問10.1、10.3、10.4、10.5に関係する用語である「リサイクルコンテンツ」の定義を更新し、質問10.6の「プラスチックの生産」では新しい定義を追加しました。質問10.3、10.4、10.5でもガイダンスを追加し、「説明してください」の列にリサイクル含有量の計算方法の開示も要請するようになりました。

質問10.6では、各行の関連性を明確にし、他の質問との関係を追加し、同質問が質問10.2および質問1.24.1の回答と関連付けられるようになりました。質問10.2「プラスチックで包装された商品の生産/商品化」で「はい」と選択した場合に質問10.6「プラスチックの使用」が表示されるように修正しました。以前は質問10.2でこの選択を行うと、質問10.6で「プラスチックの商品化」と「プラスチックの生産」の行が表示されましたが、2025年の質問書では表示されません。

モジュール11:環境パフォーマンス - 生物多様性

モジュール11には大きな変更はなく、質問11.4のガイダンスにWWF生物多様性リスクフィルターに関する情報が追加され、組織が生物多様性にとって重要なエリアに関するデータを検索できるようになりました。

モジュール12:環境パフォーマンス - 金融サービス

このモジュールは金融セクターに特化しています。

モジュール12では軽微な変更があり、そのほとんどが定義の改良、ガイダンスの明確化、列と選択肢の表示の有無に関するものです。主な変更点として、「ポートフォリオへのインパクト」「森林減少」「タクソノミーへの準拠」「タクソノミーに適合しているが準拠していない」「自然に根差した解決策」の定義を修正しています。これにより、特に金融機関や保険引受ポートフォリオにおいて、特定の選択肢と列が関連する場合にのみ表示されるようになりました。報告要件との明確性と一貫性を高めるために、融資、保険、アセット分類に関連する質問に対してガイダンスを追加しました。

モジュール13

変更点はありません。



コーポレートSME版質問書

コーポレートSME版質問書では、回答者の負担を軽減するために質問の構造と質問間の関連性に軽微な変更を加え、また、明確さと一貫性を高めるために用語のガイダンスと説明にも軽微な変更を加えました。

モジュール14: イントロダクション

- CDPを通じて開示されるすべての財務情報に使用される通貨に関する質問14.2は回答が必須です。売上を米ドルで回答することを指定した質問書の設定を除き、ここで選択された通貨が回答内のすべての財務情報に適用されることを説明する追加のガイダンスがあります。
- 質問14.4では、うるう年を考慮して「報告年度の終了日」列のガイダンスが更新されました。
- 質問14.5には、特定の事業体が組織の財務諸表に含まれているがCDPの回答には含まれていない場合、開示プロセスを説明するための追加のガイダンスがあります。

モジュール15: リスクと機会の特定、評価、管理

- 軽微な変更のみ

モジュール16: リスクおよび機会の開示

- 質問16.1.1では、「リスクが発生する河川流域」列の選択肢と「対応の説明」列のガイダンスが更新され、企業が希望する場合には残存リスクの財務効果の数値を報告できるようになりました。
- 質問16.3.1では、「機会が発生する河川流域」列の選択肢が更新され、質問に「コモディティ」列が表示される場合の条件ロジックを明確にする新しいガイダンスが追加されました。

モジュール17: ガバナンス

- 軽微な変更のみ



モジュール18:事業戦略

- 質問18.1.1には、列「この分野での戦略に影響を与えたリスクや機会に関連する環境課題」と、リスク／機会に関する質問16.1／16.3がどのような関係にあるかを示す新しいガイダンスと例を記載しています。
- 質問18.2には、組織のCDPへの回答が移行計画のエビデンスとして機能する可能性があることを示す新しいガイダンスを追加していますが、これはベストプラクティスとはみなされません。
- 質問18.3には、「その他のバリューチェーンのステークホルダー」には、コミュニティ組織、非政府組織、河川流域組織、政府機関、従業員などが含まれますが、これらに限定されないことを明確にするガイダンスが追加されました。
- 質問18.4には、「活動期間全体の推定CO2e削減量」列をトン(CO2換算トン)単位で報告する必要があることを定める新しいガイダンスがあります。

モジュール19:環境パフォーマンス - 連結アプローチ

- 変更なし

モジュール20:環境パフォーマンス - 気候変動

- 質問20.2の選択肢が更新されました。
- 質問20.3には、特定の事業体が組織の財務諸表に含まれているものの、CDPの回答には含まれていない場合の開示プロセスを説明する追加のガイダンスがあります。
- 質問20.4には、行がどのようなときに表示されるかを説明する追加のガイダンスと、リース資産に関する温室効果ガスプロトコルのガイダンスを参照するためのガイダンスがあります。
- 質問20.12では、条件ロジックが修正され、「排出量(CO2換算トン)」列が常に表示されるようになりました。
- 質問20.15.1および20.15.2では、「用語の説明」の「再生可能エネルギー」の定義が更新され、明確さと一貫性を保つため、ガイダンスが若干更新されました。
- 質問20.16.1および20.16.2には、「科学に基づく目標設定イニシアチブの公式認定レター」列に関する新しいガイダンスを追加し、個人情報編集する必要があることを明確にしました。質問20.16.2には、「原単位指標」列に関する新しいガイダンスもあり、質問全体で一貫して適用する必要があることが明確になっています。
- 質問20.16.3では、質問20.16で「その他の気候関連目標」が選択されている場合に質問が表示されるように条件ロジックが修正されました。用語の説明「低炭素エネルギー」と「再生可能エネルギー」に関する項目も追加されました。
- 質問20.17.1では、回答の負担を軽減するために「イニシアチブのカテゴリ」と「イニシアチブの種類」の列を1つにまとめ、この変更を反映してガイダンスを更新しました。

モジュール21:最終承認

- 変更なし



表：質問書の課題とテーマをまとめた表：

1. 完全版／SME版		従業員数と売上高により決定されます
2. セクター		事業活動別の売上高によって決定されます。
3. 環境課題		情報開示組織
気候変動		全開示組織が対象となります。
プラスチック		SME以外の全開示組織が対象となります・
生物多様性		
フォレスト		特定の条件を満たした場合に対象となります。
水セキュリティ		



質問書の設定手順

CDP開示プラットフォームの「質問書の設定」により、開示組織の選択に基づいて、その組織に関連する質問書がカスタマイズされます。

質問書の設定は、環境課題の関連性やセクターの割り当てなど、5つの異なるセクションで構成されています。すべてのセクションが貴組織に表示されるわけではありませんのでご注意ください。

この情報はCDPを通じて開示する情報の基礎となるため、次の点についてよくご理解いただいた上で設定を進めてください。

- 1. 全般情報:**「質問書の設定」の最初の質問は、組織の年間売上高と従業員数に関するもので、これに基づいて、組織が完全版またはSME版のどちらに回答できるかが決まります。
- 2. CDP-ACS:** 組織は、CDP活動分類システム (CDP-ACS) に従う事業活動ごとに得られた売上の割合を示します。
 - これにより、組織に最も適切なセクター固有の質問が提示されるようになります。CDPスコアリングは、最も売上高の大きいセクターに基づき決定された質問書セクター（プライマリー質問書セクター）に対して実施されます。
 - この情報は、CDPの産業別インパクト分類に従ってフォレストとウォーターに関する回答要請を決定するためにも使用されます。

- 3. 環境課題評価:** この質問は、企業が自社の森林や水への依存、インパクト、リスク、機会を評価したかどうかを尋ねるものです。該当する場合、フォレスト／ウォーターのデータポイントが貴組織にとって重要であるとみなされる可能性があります。

- 4. 回答提出の意思表示 (フォレスト／水セキュリティ):** 組織は、フォレスト／水セキュリティについて開示する予定があるかどうかを明確にします。回答要請機関の要請に従って開示を求められた場合や、CDPの産業別インパクト分類に従って開示を求められた場合、または独自の自己評価に従って開示を求められた場合、情報を開示するか辞退するかを選択できます。スコアリングの対象となるにもかかわらず回答を辞退することを選択した場合、CDPスコアに影響する可能性があります。

なお、企業はフォレストやウォーターについて、自主的に情報開示を行うこともできます。この場合に回答を辞退することを選択しても、スコアには影響しません。

- 5. 追加情報:** 組織がフォレストについて情報開示を行う予定である場合、どの森林コモディティを生産または調達しているか、また、これらについて開示するかどうかを選択する必要があります。また、該当する場合、組織は採掘活動を行っているか、採掘プロジェクトを運営しているかについても開示しなければなりません。その場合、鉱山の生物多様性に関する質問（以前の鉱業セクター用フォレスト質問書）が表示されます。

質問書の設定手順:

セクション	Prompts / Questions
全般情報	報告年度の年間売上高 (米ドル) 従業員数 コーポレート完全版またはSME版質問書
活動分類	CDP-ACS情報を確認するか、入力する
環境課題評価	フォレストやウォーターに関連する依存、インパクト、リスク、機会の評価と特定
回答提出の意思	気候変動に関する情報開示要請 追加の環境課題に関する情報開示要請 回答提出の意思
追加情報 (該当する場合)	コモディティ開示 (フォレストのみ) 報告期間中の鉱山および採掘プロジェクトの運営

CDP Worldwide

60 Great Tower Street
London
EC3R 5AZ
Tel: +44 (0) 203 818 3900
@cdp
www.cdp.net

CDPについて

CDPは、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営するグローバルな非営利団体です。環境報告のパイオニアとして、透明性と変革を推進するデータの力を信じています。ビジネス、資本、政策、科学のリーダーと提携し、アースポジティブな意思決定を可能にする新たな情報を提供しています。2024年には、24,800以上の企業と1,100以上の自治体がCDP質問書を通じて環境情報を開示しました。世界の運用資産の4分の1以上を保有する金融機関は、投資や融資の意思決定のためにCDPデータを活用しています。CDP質問書は、ISSBの気候基準であるIFRS S2への整合をはじめ、重要な情報開示基準やベストプラクティスをひとつのフレームワークに統合しています。CDPはグローバルなチームで、人と地球と経済が真にバランスの取れた世界を気づきたいという共通の願いで結ばれています。詳しくはCDP.netにアクセス、または[@CDP](https://twitter.com/cdp)をフォローしてください。
